

令和6年7月19日	
所 属	歴史博物館
所属長	門田真由美
電 話	06-6489-9801

往年の阪神タイガース名投手・故村山実さんが沢村賞を受賞された際のトロフィー等をご遺族から尼崎市立歴史博物館に寄贈していただきましたので8月1日から展示します。

1 概 要

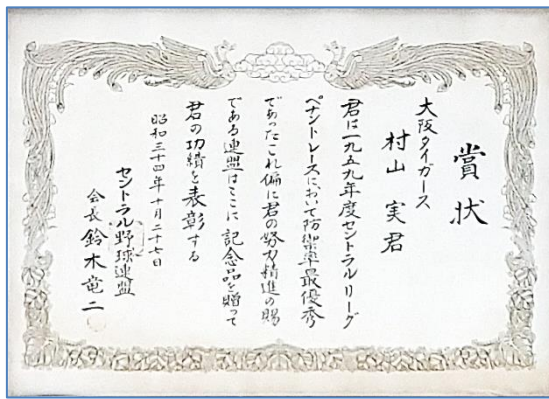
尼崎にゆかりの深い、往年の阪神タイガースの名投手・故村山実さんが沢村賞を受賞された際の記念トロフィー等6点の資料を、ご遺族から尼崎市立歴史博物館に寄贈していただきましたので、8月1日（木）から歴史博物館2階ホールに展示します。

2 寄贈資料

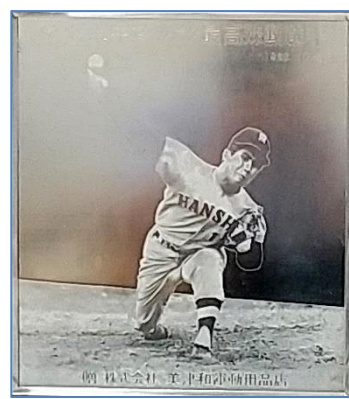
- (1) 沢村賞受賞記念トロフィー（1959年）
 - (2) セリーグ最優秀防御率賞状（1959年）
 - (3) セリーグ最高殊勲選手記念写真パネル（1962年）
 - (4) オールスターゲームトロフィー（1966年）
 - (5) 手形サイン色紙「辛抱」（年代不詳）
 - (6) 大阪タイガースユニフォーム（年代不詳）
- 以上6点



沢村賞受賞記念トロフィー



セリーグ最優秀防御率賞状



セリーグ最高殊勲選手記念写真パネル



オールスターゲームトロフィー



手形サイン色紙「辛抱」



大阪タイガースユニフォーム

3 寄贈日

令和 6 年 7 月 1 2 日

なお、寄贈者は氏名の公表を希望されていません。

4 展示

寄贈資料は、令和 6 年 8 月 1 日（水）から 1 2 月 2 8 日（土）まで、尼崎市立歴史博物館 2 階ホールで展示公開します。

5 村山実さんと尼崎市との関係について（当館の web 版尼崎地域史事典『apedia』より）

村山実（むらやまみのる）

1936 年（昭和 11）12 月 10 日-1998 年（平成 10）8 月 22 日

神戸市に生まれ、父親の転勤により尼崎市の次屋で育つ。下坂部小学校、私立住友中学校から住友工業高等学校（現市立尼崎産業高等学校）に進学。住友中時代から野球部に所属して内野手、高校 1 年冬に投手に転向して 2 年からエースピッチャーとなった。高校時代に藤田祐良監督からの勧めでフォークボールを覚え、最高成績は 3 年春の近畿大会 4 強。3 年夏の兵庫県予選は準々決勝で敗退した。昭和 29 年度の阪神地区の優秀選手に選ばれている。

立教大学進学を希望していたが、背が低いという理由で断られたため、次兄の勧めで 1955 年（昭和 30）に関西大学に入学して硬式野球部に入部。主力投手だった上級生 2 人が相次いで中退・プロ入りしたことで、大学 2 年の春季リーグ戦でエースに抜擢され、優勝の立役者となった。さらにこの年の全日本大学野球選手権大会で全試合完投勝利の活躍、東京六大学以外の大学として初めての優勝に大きく貢献した。大学時代の同期で捕手として村山を支えた人物が、後に阪急ブレーブスの名監督となった上田利治である。

大学卒業後は読売巨人軍の誘いを断って大阪タイガースに入団し、プロ入り 1 年目の 1959 年（昭和 34）に最優秀防御率投手と沢村賞を獲得。この年に行なわれたプロ野球史上初の天覧試合で巨人の長嶋茂雄にサヨナラ本塁打を打たれた場面は語り草となっており、村山本人は「本塁打ではなくファールだった」と生涯主張していた。「炎のエース」とあだ名された村山は、長嶋への強烈なライバル意識から通算 1500 個目の奪三振を事前に公言して長嶋から奪っている。通算 2000 奪三振も長嶋からである。また村山の力強い投球フォームは、人間機関車と呼ばれたチェコスロバキアの陸上選手・ザトペックを彷彿とさせたため、ザトペック投法と呼ばれ人気を博した。1969 年 11 月、32 歳で監督兼任のプレーイングマネージャーに抜擢されたが、優勝を果たせず 1972 年に監督を辞任するとともに現役も引退。1988 年に再び監督として指揮を執るも、成績がふるわず 2 年で退団となった。プロ通算成績は 509 試合に登板、222 勝 147 敗、防御率 2.09、奪三振 2271。最優秀防御率投手 3 回、最優秀勝率投手 1 回、最多勝利投手 2 回、ベストナイン 3 回、沢村賞 3 回、最高殊勲選手（MVP）1 回受賞。「ミスタータイガース」として活躍した村山の背番号「11」は、球団史上 2 人目の永久欠番となっている。1993 年（平成 5）、野球殿堂入り。

1998 年（平成 10）、直腸ガンで死去。2004 年には母校にあたる市立尼崎産業高等学校に銅像が建てられた。※市立尼崎産業高校は 2013 年（平成 25）3 月に閉校。跡地は現在、兵庫県立尼崎総合医療センターとなっており、銅像は同所に現存している。

6 担当

尼崎市立歴史博物館 学芸員 桃谷和則

〒660-0825 尼崎市南城内 10 番地の 2

電 話 06-6489-9801 FAX 06-6489-9800

メール momotani-kazunori@city.amagasaki.hyogo.jp

以 上